

交流及び共同学習

●小学校・中学校・高等学校との交流

【小学校との交流】

小学部では、昭和54年から、岐阜市立早田小学校との交流活動を続けています。早田小学校5年生の児童が1年に2回来校して、学級毎に交流会を開きます。当校の児童の好きな遊びを一緒にしたり、早田小学校の児童が考えたゲームを一緒にしたりします。また、合唱の発表もあり、賑やかな雰囲気の中で、共に楽しい時間を過ごしています。



【中学校との交流】

中学部では、昭和55年から、山県市立伊自良中学校との交流活動を続けています。当校の生徒が伊自良中を訪れて一緒にゲームをしたり、伊自良中学校の生徒が当校へ来て、準備をしてきたゲームを一緒にしたり、歌ったりしています。クリスマスには伊自良中学校の生徒からのプレゼントも楽しみの一つになっています。

【高等学校との交流】

高等部では、岐阜北高等学校との交流を1年に2回行っています。1回目は同校のボランティア委員会の生徒が来校し、互いに自己紹介をしたり、当校生徒が普段の学習で取り組んでいることを伝えたり、一緒にゲームをしたりしながら楽しく和やかな時間を過ごします。2回目は当校高等部の生徒が岐阜北高等学校の文化祭に伺い、ボランティア委員会の生徒と一緒に見学します。アイデアいっぱいのおもしろい企画や展示、楽しく賑やかな催しの雰囲気に当校生徒たちは興味津々な様子で目をキラキラさせます。見るもの、聞くもの、触れるもの・・・おもしろいものにたくさん出会える貴重な交流の場になっています。



県立岐阜商業高等学校との交流では、年間を通じて情報処理科の生徒が定期的に来校し、各部の対象グループと交流しながらiPadのアプリ教材を制作します。子どもたちの興味・関心を刺激するような素材や効果、身体の動きに制限がある人にでも操作しやすいアイコンや画面配置など、県岐商の生徒が練りに練って作り上げたアプリケーションは思いやりと創意工夫に溢れ、当校児童生徒が日々楽しみながら学ぶために役立っています。

【居住地校交流】

当校の児童生徒が、それぞれの居住地の同年代の児童生徒とのかかわりを広げたり、理解を深めたりするために、希望に応じて、直接交流を行っています。また、地域の小学校や中学校から一時的に当校へ転校してきた児童生徒が、居住地の学校へ円滑に戻ることをするための直接交流も積極的に進めています。平成26年度からは居住地校に特別支援学校の児童生徒の「交流籍」がおかれまして。直接交流に加え、希望に応じて学級だよりや作品などを交流する間接交流も行っています。



●地域社会との交流

【地域への情報発信】

OPTA会報「ふれあい」を年に3回発行し、地域の自治会に回覧することで、学校の情報を発信しています。○「スポーツフェスタ」のポスターを地域の公民館や郵便局等に掲示したり、H30年度から名称を変更した「希望フェスタ（旧なかよしフェスタ）」の案内を地域の自治会に配付したりして、参加や応援を呼び掛けています。

【地域作品展】

地域の作品展に当校の児童生徒の作品を出品したり、近隣の銀行や公民館を借りて作品展示をしたりして、当校の取組を紹介すると同時に、理解啓発を図っています。



〈早田公民館〉



〈十六銀行 忠節支店〉



〈ぎふ清流文化プラザ〉



〈ふれあい福祉フェア〉